

平成 31 年 3 月 29 日  
 (公財) 日本海事センター

関係各位

## 「海に関する海事関係学生意識調査 2018」の結果について

今般、海事関係の大学等の在学生を対象に「海に関する海事関係学生意識調査」(以下、「学生意識調査」)を実施しました。この調査は、将来の海事関係の人材育成に資することを目的にしており、海事関係の大学等の協力を得て実施したものです。

### 《調査概要》

1. 調査対象者：発送数 1,357、有効回答数 1,006 (回収率 74.1%)

東京海洋大学 (海洋工学部) 242 名

海事システム工学科

海洋電子機械工学科

神戸大学 (海事科学部) 366 名

海事科学部 (1 年生)

グローバル輸送科学科

マリンエンジニアリング学科

東海大学 (海洋学部) 74 名

航海工学科 航海学専攻

(独) 海技教育機構

宮古海上技術短期大学校 43 名

清水海上技術短期大学校 110 名

波方海上技術短期大学校 171 名

男女別内訳：男性 867 名、女性 137 名、無回答 2 名

年代別内訳：10 代 468 名、20 代 528 名、30 代 8 名、無回答 2 名

	10 代	20 代	30 代	無回答	合計
男 性	401	456	8	2	867
女 性	66	71	0	0	137
無回答	1	1	0	0	2
合 計	468	528	8	2	1,006

注：神戸大学 1 年生については、学科選択が 2 年次のため、海事科学部全体を対象としている。

2. 調査方法：海事関係の教育機関に対する郵送によるアンケート調査

3. 調査期間：2018 年 8 月 20 日 (月) ~ 12 月 11 日 (火)

## 《調査結果のポイント》

### I. 船員検討のために事前に知りたいこと

船員としての業務内容より「労働時間や休日・休暇（乗下船）等の雇用形態」「給与・福利厚生」などに関心が高い。一方、女性は人生の節目の際の陸転や休暇取得の情報を求めている。

労働時間や休日、休暇（乗下船）等の雇用形態、給与・福利厚生等の待遇面が7割を超え、海上勤務の業務内容よりも関心が高い。

一方、女性の場合、結婚・子どもの誕生や介護のライフステージに伴う陸転、休暇の取得といった項目がトップとなっており、人生の節目に自由度（陸転や休暇取得）があるのが関心事項であることがうかがえる。

また、特に知りたいこととしても、船員として労働時間や業務内容より、「給与・手当」「休日・休暇」「結婚・出産・育児」といった生活面に関心が高いことがうかがえる。

### II. 入社試験受験にあたって事前確認したいこと

事前に知りたい・確認したいことの上位は「労働時間や休日・休暇（乗下船）等の雇用形態」、「給与・福利厚生等の待遇面」、「海上勤務及び陸上勤務の業務内容」。

全体では「労働時間や休日・休暇（乗下船）等の雇用形態」（76.1%）、「給与・福利厚生等の待遇面」（72.9%）、「海上勤務及び陸上勤務の業務内容」（70.0%）の3項目が7割を超えるが、業務内容よりワークライフバランスや待遇面への関心が高い。さらに「船内生活（食事・居住・通信・安全衛生等）の内容」（60.8%）が6割を超え、「就職前に習得しておくべき知識・資格等」（50.1%）、「結婚・子どもの誕生・介護等のライフステージにおける陸転や休暇取得の可否」（49.7%）が約5割と高い。

この傾向は4大、短大でも同様であるものの、男女別で見ると、4大の女性は「結婚・子どもの誕生・介護等のライフステージにおける陸転や休暇取得の可否」が一番となっており、就職後の結婚・出産などにおける休日・休暇や陸上勤務などへの関心も高いことがうかがえる。

### III. 船員として就職した場合、企業に期待すること

企業に期待することとしては、「給与・福利厚生」、「労働時間・休日・休暇」への関心が特に高い。

学生の就職に関しての関心事項としては、給与・福利厚生などの待遇面や十分な休暇取得への期待が高いが、4大生では給与等の待遇面での期待が大きく、短大生では休暇等への期待の方が大きい。

さらに、船内生活の充実や良好な人間関係といった船員ならではの項目への期待が高い。

### IV. 船員として就職した場合、不安に感じること

不安に感じることとしては、船員としての技術的な面よりも人間関係、安全性（事故・災害・病気）、海上勤務における家族との関係や結婚生活などに関するものが多い。

学生の就職に関しての不安事項として、全体で人間関係、安全性（事故・災害・病気）、海上勤務における家族との関係や結婚生活が上位。人間関係にパワハラとセクハラを件数を加えると不安材料では群を抜いている。4大では「安全性（事故・災害・病気）」「家族との関係・結婚生活」が多く、短大では「人間関係」が群を抜いている。

## V. 船員として就職した場合のキャリアプランと海上勤務の希望年数

海上勤務の希望年数は「定年まで」が34.2%、「陸上勤務シフト希望（一定年数後と結婚・子どもの誕生、介護等を機にを含む）」が53.7%。「定年まで」の希望は、4大が2割強(22.3%)に対して、短大は約6割(59.3%)。

全体では「定年まで」と「陸上勤務シフト希望（一定年数後と結婚・子どもの誕生、介護等を含む）」でみると、「定年まで」が34.2%に対し、「陸上勤務シフト希望」が53.7%と陸上勤務シフト希望が約20ポイント高いが、学校種別でみると、4大では「定年まで」が2割強(22.3%)、「陸上勤務シフト希望」が6割強(63.9%)であるのに対し、短大では「定年まで」が6割(59.3%)、「陸上勤務シフト希望」が3割強(32.1%)と大きな違いをみせている。

男女別でみると、男性は「定年まで」が4割弱(36.2%)、「結婚・子どもの誕生等を機に陸上勤務シフト希望」が2割(19.1%)に対し、女性は「結婚・子どもの誕生等を機に陸上勤務シフト希望」が5割強(54.7%)で「定年まで」が2割(20.4%)となっている。

一定数年に陸上勤務を希望すると回答した中で、海上勤務の希望年数を「1～9年」、「10～19年」、「20～29年」、「30年以上」でみた場合、最も高いのは「10～19年」が39.9%、次いで「1～9年」が33.2%。

## VI. 船員としての企業への就職希望

船員としての就職意向は全体で「希望」が約7割(69.1%)。4大で「希望」が6割弱(56.6%)に対し、短大(95.4%)は「9割以上」と希望意向が40ポイント高い。

全体で船員として企業への就職を「希望」が約7割(69.1%)。4大で「希望」が6割弱(56.6%)に対し、短大での「希望」は「9割以上」(95.4%)と約40ポイント高い意向を示している。

一方、男女別でみると、短大では男女とも「希望」が9割以上となっているが、4大では「希望」が男性で6割弱(58.4%)、女性で5割弱(48.3%)と男性が10ポイント高くなっている。

注：神戸大学については、2年生から船舶職員養成コース（グローバル輸送科学科、マリンエンジニアリング学科）とそれ以外（海洋安全システム科学科）への進路が分かれることから、1年生の段階では、船員希望者の割合が低くなっている（172件中52件が希望：30.2%）。神戸大学の1年生を除いて集計すると、「希望」が全体では77.1%（+8ポイント）、4大では65.5%（+約9ポイント）となり、4大の男女別では、男性で67.7%（+約9ポイント）、女性で54.9%（+約7ポイント）となる。

## VII. 船員を希望する理由と希望分野

希望する理由のトップは、全体で「給料が良いから」（約6割）、次いで「海や船が好きだから」（5割強）。希望分野では4大は「外航」が8割強、短大では「内航」が8割強。

希望する理由は全体で「給料が良いから」（61.9%）、次いで「海や船が好きだから」（56.5%）、「やりがいのある仕事だから」（40.7%）と続き、上位3つの理由は4大と短大は同様である。

希望分野をみると、4大では「外航」（81.6%）、「フェリー／旅客船」（43.0%）、「内航」（24.1%）。短大では「内航」（83.5%）、「フェリー／旅客船」（33.0%）、「外航」（10.0%）となっている。

## VIII. 船員を希望しない理由

船員を希望しない理由では「陸上勤務希望」が約5割、「他の進路希望」が約4割。

船員を希望しない理由は「陸上勤務を希望」（141件・48.0%）が約5割、「他の進路を

希望」(123件・41.8%)が約4割と「陸上勤務」、「他進路」希望が群を抜いている。

「他の進路を希望する分野」としては、造船、エンジニア(9件)、進学(8件)、航空、物流、メーカー(7件)などとなっている。

#### **Ⅸ. 海技資格の取得意向**

**海技資格の取得意向は、全体で約8割。4大で約7割、短大では「9割以上」。**

海技資格の取得の意向は、全体で約8割(77.1%)。4大で約7割(68.2%)、短大では9割以上(96.0%)となっている。船員希望が全体で約7割(69.1%)、4大で約6割(56.6%)、短大で9割以上(95.4%)となっていることから、4大では船員希望でない者も海技資格取得の意向があることがうかがわれる。

男女別で見ると、男性で約8割(78.0%)、女性で約7割(72.3%)が取得の意向を持っている。

海技資格の取得理由としては、「船員を希望するから(就職などで必要、有利を含む)」(326件)、次いで「役に立つから(一生使える、便利だから、武器になるから)」(94件)、「仕事の選択肢が増える、仕事の幅が広がるから」(67件)と続く。

一方、海技資格の非取得理由としては、全体では「船員を希望しないから」(48件)、「必要ないから」(27件)などをあげている。

注：神戸大学については、2年生から船舶職員養成コース(グローバル輸送科学科、マリンエンジニアリング学科)とそれ以外(海洋安全システム科学科)への進路が分かれることから、1年生の段階では、海技資格の取得意向の割合が低くなっている(172件中83件が希望：48.3%)。神戸大学の1年生を除いて集計すると、「資格の取得意向」は全体では83.1%(+6ポイント)、4大では74.9%(+約7ポイント)となり、男女別では、男性で83.4%(+約5ポイント)、女性で81.2%(+約9ポイント)となる。

I 船員検討のために事前に知りたいこと

(設問 1-1. あなたが現在の希望に関わらず、将来の職業の選択肢として「船員」を検討するにあたり、事前に知っておきたいことはありますか。)(選択 複数回答)

- ① 海上勤務の業務内容
- ② 給与・福利厚生等の待遇
- ③ 労働時間や休日、休暇(乗下船)等の雇用形態
- ④ 結婚・子どもの誕生・介護等のライフステージにおける陸転や休暇取得の可否
- ⑤ その他(具体的に: )

(設問 1-2. 特に知りたい内容を具体的に。)自由回答

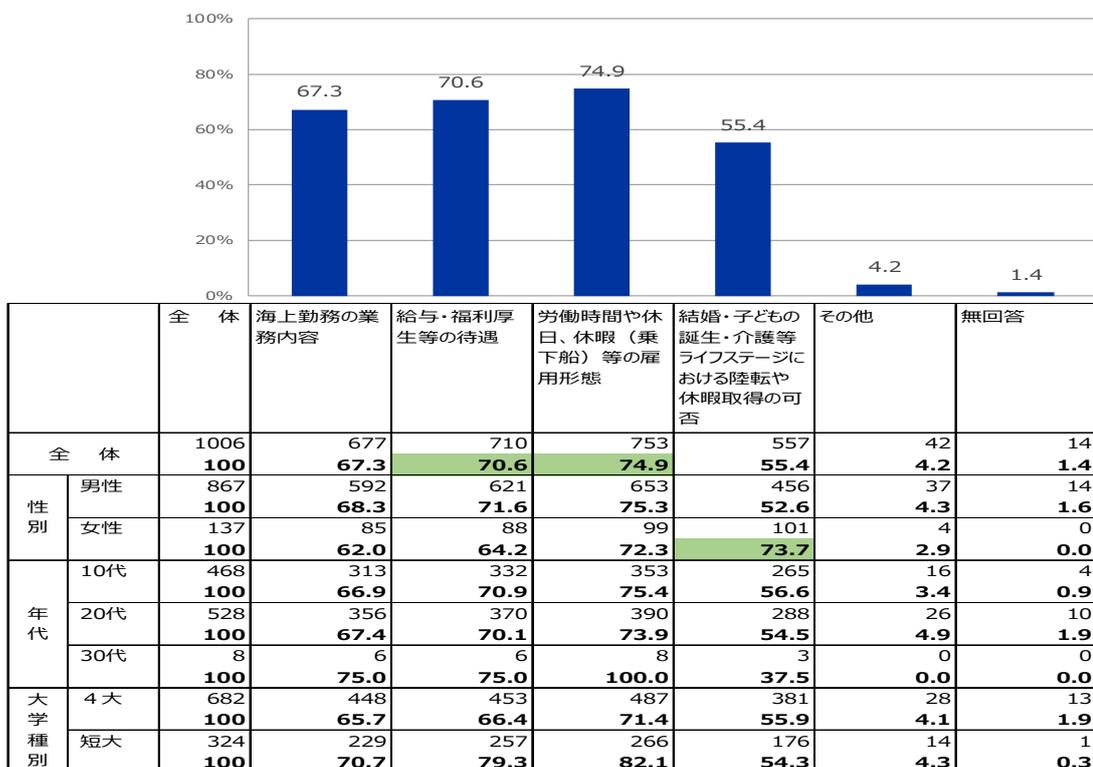
船員としての業務内容より「労働時間や休日・休暇(乗下船)等の雇用形態」「給与・福利厚生」などに関心が高い。一方、女性は人生の節目の際の陸転や休暇取得の情報を求めている。

労働時間や休日、休暇(乗下船)等の雇用形態、給与・福利厚生等の待遇面が7割を超え、海上勤務の業務内容よりも関心が高い。

一方、女性の場合、結婚・子どもの誕生や介護のライフステージに伴う陸転、休暇の取得といった項目がトップとなっており、人生の節目に自由度(陸転や休暇取得)があるのかが関心事項であることがうかがえる。

また、特に知りたいこととしても、船員として労働時間や業務内容より、「給与・手当」「休日・休暇」「結婚・出産・育児」といった生活面に関心が高いことがうかがえる。

図 1. 事前に知りたいこと(全体)



※上段:実数 下段:%

【回答者:対象者全員】

表 1. 特に知りたいこと

特に知りたいこと(全体)	件数	特に知りたいこと(4大)	件数	特に知りたいこと(短大)	件数
給与・手当	42	給与・手当	28	休日・休暇	15
休日・休暇	34	結婚・出産・育児	20	給与・手当	14
結婚・出産・育児	23	休日・休暇	19	労働時間	7
労働時間	18	労働時間	11	業務内容	7
業務内容	15	福利厚生	9	結婚・出産・育児	3
福利厚生	10	業務内容	8	船種別の業務内容	3
船種別の業務内容	7	海上勤務と陸上勤務の割合	5	1日の流れ	2
海上勤務と陸上勤務の割合	5	陸上勤務について	4	睡眠時間	2
女性の雇用状況	5	船種別の業務内容	4	必要な能力	2
船内生活	5	女性の雇用状況	4	昇進	2
上位10位掲載		船内生活	4	上位10位掲載	
		安全性	4		
		上位10位掲載			

## Ⅱ 入社試験受験にあたって事前確認したいこと

(設問 2. あなたの現在の希望に関わらず、あなたが船員になるために就職活動をした場合、会社の入社試験を受けるにあたって事前に会社に確認したいことや知りたいことはどのようなことですか。)(選択 複数回答)

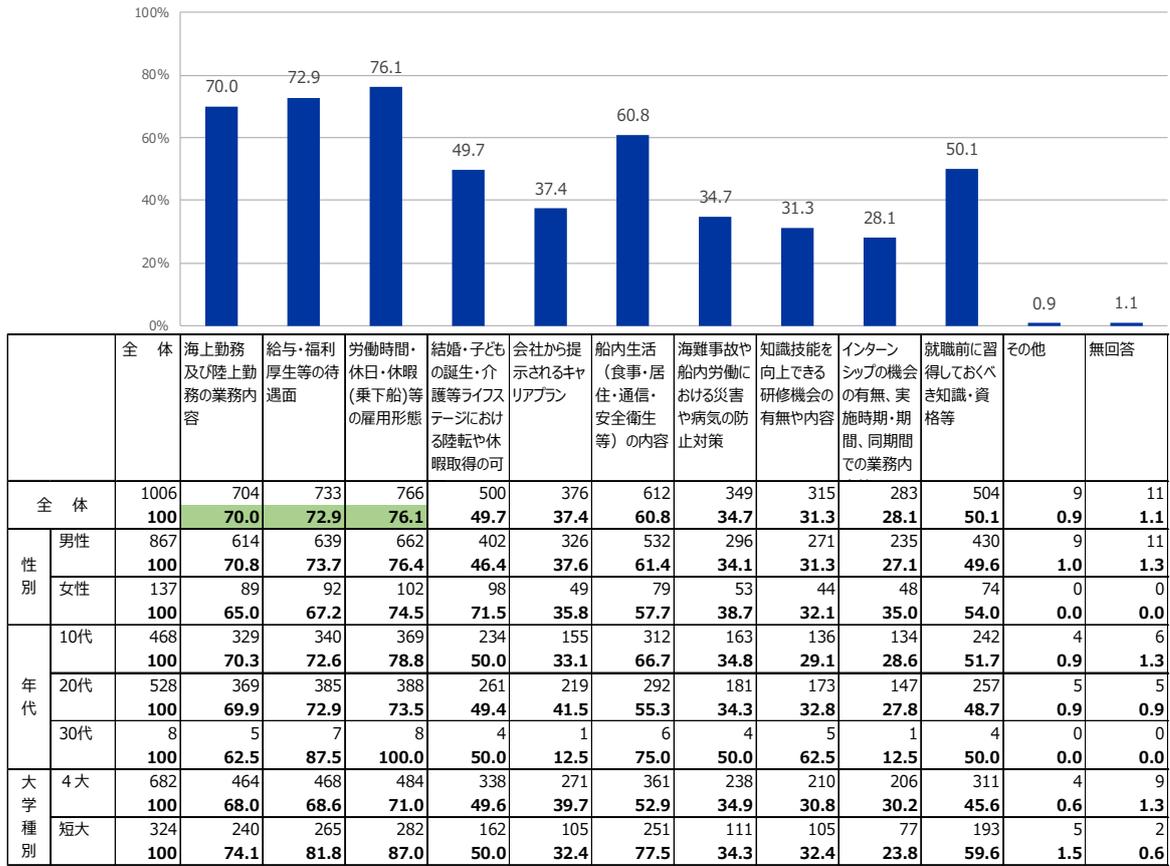
- ① 海上勤務及び陸上勤務の業務内容
- ② 給与・福利厚生等の待遇面
- ③ 労働時間や休日・休暇(乗下船)等の雇用形態
- ④ 結婚・子どもの誕生・介護等のライフステージにおける陸転や休暇取得の可否
- ⑤ 会社から提示されるキャリアプラン
- ⑥ 船内生活(食事・居住・通信・安全衛生等)の内容
- ⑦ 海難事故や船内労働における災害や病気の防止対策
- ⑧ 知識技能を向上できる研修機会の有無や内容
- ⑨ インターンシップの機会の有無、実施時期・期間、同期間での業務内容等
- ⑩ 就職前に習得しておくべき知識・資格等
- ⑪ その他(具体的に: )

**事前に知りたい・確認したいことの上位は「労働時間や休日・休暇(乗下船)等の雇用形態」、「給与・福利厚生等の待遇面」、「海上勤務及び陸上勤務の業務内容」。**

全体では「労働時間や休日・休暇(乗下船)等の雇用形態」(76.1%)、「給与・福利厚生等の待遇面」(72.9%)、「海上勤務及び陸上勤務の業務内容」(70.0%)の3項目が7割を超えるが、業務内容よりワークライフバランスや待遇面への関心が高い。さらに「船内生活(食事・居住・通信・安全衛生等)の内容」(60.8%)が6割を超え、「就職前に習得しておくべき知識・資格等」(50.1%)、「結婚・子どもの誕生・介護等のライフステージにおける陸転や休暇取得の可否」(49.7%)が約5割と高い。

この傾向は4大、短大でも同様であるものの、男女別でみると、4大の女性は「結婚・子どもの誕生・介護等のライフステージにおける陸転や休暇取得の可否」が一番となっており、就職後の結婚・出産などにおける休日・休暇や陸上勤務などへの関心も高いことがうかがえる。

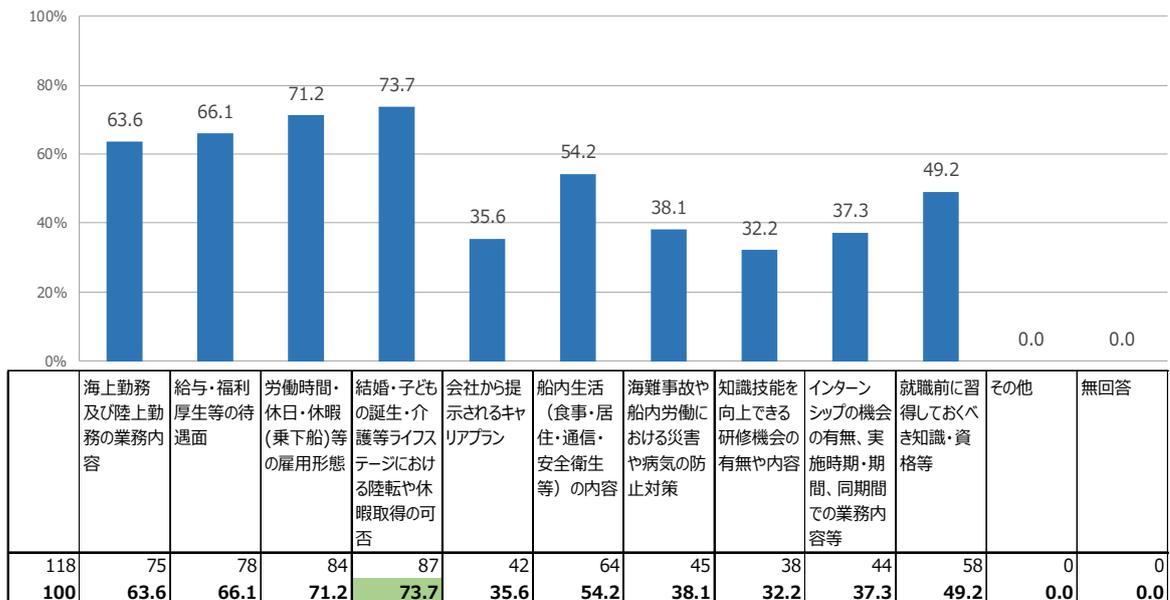
図 2. 受験にあたり確認・知りたいこと（全体）



※上段：実数 下段：%

【回答者：対象者全員】

図 3. 受験にあたり確認・知りたいこと（4大・女性）



※上段：実数 下段：%

【回答者：対象者全員】

### Ⅲ 船員として就職した場合、企業に期待すること

(設問 3. あなたの現在の希望に関わらず、あなたが船員として就職した場合に、就職先の企業に期待することはどのようなことですか。)(自由回答)

企業に期待することとしては、「給与・福利厚生」、「労働時間・休日・休暇」への関心が特に高い。

学生の就職に関する関心事項としては、給与、福利厚生などの待遇面や十分な休暇取得への期待が高いが、4大生では給与等の待遇面での期待が大きく、短大生では休暇等への期待の方が大きい。

さらに、船内生活の充実や良好な人間関係といった船員ならではの項目への期待が高い。

表 2. 企業に期待すること

企業に期待すること(全体)	件数	企業に期待すること(4大)	件数	企業に期待すること(短大)	件数
給与・福利厚生	206	給与・福利厚生	149	労働時間・休日・休暇	60
労働時間・休日・休暇	147	労働時間・休日・休暇	87	給与・福利厚生	57
船内生活の充実	47	船内生活の充実	33	良好な人間関係	26
良好な人間関係	37	安全・事故対策	20	船内生活の充実	14
安全・事故対策	30	社員教育・研修	20	求人票通りの労働条件	11
社員教育・研修	25	ライフステージにおける陸転や休暇取得	18	安全・事故対策	10
ライフステージにおける陸転や休暇取得	21	海上勤務・陸上勤務の自由度	14	ブラック企業でないこと	8
ブラック企業でないこと	17	良好な人間関係	11	働きやすさ	8
海上勤務・陸上勤務の自由度	14	女性が働きやすい・セクハラがない	11	社員教育・研修	5
働きやすさ	13	ブラック企業でないこと	9	自身の成長・向上	5
上位10位掲載		雰囲気の良い	9	上位10位掲載	
		上位10位掲載			

### Ⅳ 船員として就職した場合、不安に感じること

(設問 4. もし、あなたが船員として就職した場合、不安に感じることはどのようなことですか。)(自由回答)

不安に感じることとしては、船員としての技術的な面よりも人間関係、安全性(事故・災害・病気)、海上勤務における家族との関係や結婚生活などに関するものが多い。

学生の就職に関する不安事項として、全体で人間関係、安全性(事故・災害・病気)、海上勤務における家族との関係や結婚生活が上位。人間関係にパワハラとセクハラの件数を加えると不安材料では群を抜いている。4大では「安全性(事故・災害・病気)」「家族との関係・結婚生活」が多く、短大では「人間関係」が群を抜いている。

表 3. 不安に感じること

不安に感じること(全体)	件数
人間関係	134
安全性(事故・災害・病気)	111
家族との関係・結婚生活	89
労働時間・休日・休暇	63
船内生活	57
上司や先輩との関係・パワハラ	33
船酔い	24
女性が働きにくい・セクハラ	20
陸に帰れない・乗船期間が長い	18
外国人船員とのコミュニケーション・英語力	17

上位10位掲載

不安に感じること(4大)	件数
安全性(事故・災害・病気)	91
家族との関係・結婚生活	81
人間関係	52
船内生活	39
労働時間・休日・休暇	37
女性が働きにくい・セクハラ	19
船酔い	18
外国人船員とのコミュニケーション・英語力	17
上司や先輩との関係・パワハラ	16
陸に帰れない・乗船期間が長い	15

上位10位掲載

不安に感じること(短大)	件数
人間関係	82
労働時間・休日・休暇	26
安全性(事故・災害・病気)	20
船内生活	18
上司や先輩との関係・パワハラ	17
家族との関係・結婚生活	8
睡眠時間の確保	7
船酔い	6
仕事が覚えられるか	6
きちんと仕事ができるか	6

上位10位掲載

(以下略)